

教師のためのオープンキャンパスウィーク2026 開放授業一覧

神戸市外国語大学 国際交流センター

授業コード	曜日	時限	授業科目	代表教員	教室	主題と到達目標
11月17日（火）						
1	火	6	臨床心理学入門 2	金沢 晃	205	この講義では、人生で経験するライフイベントの意味を、臨床心理学的に捉え直してみます。また、こころの病、その要因や、支援についても考えてみたいと思います。
2	火	6	英語教育法「第1」 2	矢形 勝秀	408	前期に開講される「英語教育法「第1」 1」に引き続き、英語の教師に期待される英語教育の理論的知識と実践的教育力を身につけることを目標とする。理論面では学習者理解、各技能の指導法などについて学び、実践面では引き続き英語教育に関わる要素や理論の実践への応用、教材研究、教案作成、授業展開の方法を実際の模擬授業演習の中で体験する。模擬授業は録画し学生の経験学習・内省学習のための教材とする。さらに学生間で模擬授業に対する批判的フィードバックを与えることで、協働学習を促進する。授業中の議論や相互評価を通して発表力を養い、総体として教師力、教育力の向上をめざす。
3	火	6	兼修ドイツ語I[1]	宮下 みなみ	309	初めてドイツ語を学ぶにあたって、基本的な文法知識と、実践的なコミュニケーションや文章読解の技法を、相互に高め合うかたちで身に付けてゆくことを目標とします。
4	火	7	教育相談	金沢 晃	203	教育相談活動は、子どもの教育上の問題について、子ども本人や、保護者、教師に助言、指導をしていく活動である。この授業では、教育相談の理論や方法に習熟すること、子どもの心理的問題、発達上の問題や、いじめ、不登校、虐待など教育現場における問題について習熟することを目標とする。
5	火	7	兼修ドイツ語II[1]	宮下 みなみ	309	中級レベルを目標に、文法や文章読解、実践的なコミュニケーションなどの技法をいっそう深く広く学び、ドイツ語能力をさらに総合的に向上させてゆきます。
11月18日（水）						
6	水	6	専攻英語II講読[3]（詩） C	吉川 朗子	207	英語で書かれた代表的な詩作品を学ぶことで、英語読解力を鍛え、様々な英語表現・レトリック・論理構成を学ぶとともに、英語らしい響き、リズムになれる。また、作品を生み出した英米の文化・社会の背景について理解する。
7	水	6	専攻英語I発音 B	S.Yagata	406	英語の音声に関する理論に対する知識と理解を深め、実践練習を通して誰からも理解してもらえる英語発音を身につけることを目指す。英語の音声特徴、発音記号、音声器官の使い方、発声法などを学び練習する。英語を専門に学ぶ学生として自信を持って英語を口にすることができ、加えて教職を目指す学生にとっては発音記号を正しく読み、自ら教室で生徒に規範的な手本を示し、誤った生徒の発音に対する的確な指導ができるようになることを目標とする。
11月19日（木）						
8	木	6	兼修ドイツ語II[2]	E.Franz	第2AV	身近な事柄についてドイツ語圏の事情を学び、それに対応する日本事情をドイツ語で表現することを目指します。
9	木	6	データサイエンス入門 E	関 陽介	第4AV	現代社会では専門分野を問わず、データを処理するための統計学や人工知能、プログラミング等の知識や技術が求められています。この授業では講義と実習を通してこれらの基礎知識や技術を身につけることを目的とします。
10	木	7	兼修ドイツ語I[2]	E.Franz	応用視聴覚室	発音から基礎的な文法事項を学びながら、簡単な日常会話が出来るようにします。ドイツ語は楽しいです！

11	木	7	データサイエンス入門 G	関 陽介	第4AV	現代社会では専門分野を問わず、データを処理するための統計学や人工知能、プログラミング等の知識や技術が求められています。この授業では講義と実習を通してこれらの基礎知識や技術を身につけることを目的とします。
11月20日 (金)						
12	金	6	英語教育法「第2」 2	濱田 彰	505	外国語(英語)の目標が、聞く・話す(やり取り・発表)・読む・書くという5技能を最大限に活用して、コミュニケーション能力を高めていくことや、異文化理解を深めることに置かれていることから、模擬授業や指導案作成などを通して、外国語の指導に必要とされる知識を理解し、技能を涵養していくことを目的とする。
13	金	6	児童英語教育	大槻 有佳子	104	This course will introduce to the students different kinds of materials to teach young children. This course focuses on experiential learning. Every week students have homework (reading or listening materials) and show your understanding and discuss related topics in class. Also, students will plan and conduct a micro-teaching lesson. At the end of the course, students will reflect on the course.
14	金	6	インストラクショナルデザイン	S.Yagata	614	The purpose of this class is to engage with theory behind instructional design including the assessment of learner needs, curriculum creation, material development and adaptation, and lesson planning. Students will critically analyze their teaching contexts including national and school-level requirements, school and department philosophies, learner needs and characteristics, and team-teaching practices. Students will also reflect on how their own pedagogical beliefs impact instructional design. In this class students will practically apply each of these ideas to creating and/or adapting a curriculum and create a portfolio that documents their learning through the class.
15	金	6	History of Japanese cinema (AW)	A.Lafontaine	106	This course covers Japanese cinema from its early days to contemporary productions. Students will explore industrial practices, film movements, genres, and key filmmakers in their national and global contexts. Kobe, being the birthplace of film exhibition in Japan, will occupy a central place alongside the Kansai region in our film selection.
16	金	7	言語アセスメント	濱田 彰	第3AV	英語教育における言語能力の測定・評価方法についての理論と実践について学ぶ。特に、指導と評価の一体化を実現するための言語アセスメント理論、評価方法と種類、テスト作成技術を習得する。さらに、評価の心理的側面や倫理と公平性、データ分析とテストの改良といった内容を扱い、言語評価リテラシーを高めることを目標とする。
11月21日 (土)						
17	土	2	英語教授法1(指導法入門)	矢形 勝秀	第3AV	This course provides an overview of theoretical concepts and methodological practices relevant to world language education. It aims to offer students opportunities to deepen and transform their understandings about teaching and learning a second language, and education through experiential learning and reflective practice. The course syllabus is a general plan for the course; deviations announced to the class by the instructor may be necessary.

18	土	4	児童英語教育法 B	大槻 有佳子	613	Continuing 児童英語教育法A in the spring semester, this course is designed to examine critical issues in the theories and practice of English (as a second or foreign language) education for children. Participants are expected to have already gained a fundamental knowledge of the history/background of language education for children, as well as basic learning theories related to children's language acquisition. Also, as in-service teachers, participants are expected to have developed a range of teaching methods and skills necessary for planning and conducting English lessons for children. Building on the knowledge and skills, participants will discuss language education for children and children's language development across diverse contextual, cultural, and social settings. For class discussions, participants are required to post your reflections on weekly topics based on assigned readings/audiovisual materials to the portal before each class. All participants are expected to actively participate in class discussions. In addition, participants will read research articles and write annotated bibliographies related to your research/practical interests or your thesis topic. At the end of the semester, participants will present an integrated review of the annotated bibliographies that you wrote throughout the class. Through this project, participants will learn how to critically approach and examine research articles, which will support you in writing literature review in your master's thesis.
11月23日（月・休日開講）						
19	月	1	専攻中国語II講読[1] A	竹越 孝	205	現代中国語の散文や論説文を精読するとともに、関連する文法問題を解く。①精確な日本語訳を行うことによって持続力を付ける。②初見の文法問題を解くことによって瞬発力を付ける。
20	月	1	専攻英語I発音 B	S.Yagata	406	英語の音声に関する理論に対する知識と理解を深め、実践練習を通して誰からも理解してもらえる英語発音を身につけることを目指す。英語の音声特徴、発音記号、音声器官の使い方、発声法などを学び練習する。英語を専門に学ぶ学生として自信を持って英語を口にすることができ、加えて教職を目指す学生にとっては発音記号を正しく読み、自ら教室で生徒に規範的な手本を示し、誤った生徒の発音に対する的確な指導ができるようになることを目標とする。
21	月	1	専攻ロシア語III講読[3]	岡野 要	第2AV	この授業では、言語表現に現れるロシア人のメンタリティにかんして書かれたB2およびC1レベルのロシア語テキストを読み、その特徴や日本人のメンタリティとの違いについて考える。日常で用いられる言語表現にロシア人のどのような国民性や民族的ステレオタイプが隠されているのかを正確に理解することを目標とする
22	月	2	専攻中国語II講読[1] B	竹越 孝	205	現代中国語の散文や論説文を精読するとともに、関連する文法問題を解く。①精確な日本語訳を行うことによって持続力を付ける。②初見の文法問題を解くことによって瞬発力を付ける。
23	月	2	専攻英語I発音 C	S.Yagata	406	英語の音声に関する理論に対する知識と理解を深め、実践練習を通して誰からも理解してもらえる英語発音を身につけることを目指す。英語の音声特徴、発音記号、音声器官の使い方、発声法などを学び練習する。英語を専門に学ぶ学生として自信を持って英語を口にすることができ、加えて教職を目指す学生にとっては発音記号を正しく読み、自ら教室で生徒に規範的な手本を示し、誤った生徒の発音に対する的確な指導ができるようになることを目標とする。

24	月	2	専攻ロシア語I〔2〕	岡野 要	第2AV	ロシア語で読み・書き・話し・聞くために必要な基本文法を習得します。授業の主題は文法ですが、表記、発音、イントネーション、語彙、基本表現についても言及し、ロシア語を正しく使うために必要な知識を身につけます。
25	月	3	中国の法と政治	上野 正弥	208	中国共産党による一党支配体制が敷かれている中国を理解する上で、中国共産党の歴史やその政治運営のあり方を知ることは極めて重要であると言えます。本科目では、主に中国共産党の歴史を検討しながら現代中国政治史を詳しく学びます。履修者が現代中国政治史についての基礎知識を獲得できることを目標とします。また、少数民族問題や香港をめぐる問題についても学び、これら問題の歴史的背景を理解できるようにしていきます。
26	月	3	スラヴ語学2	岡野 要	第2AV	スラヴ語派の諸言語について通時的（歴史的）および共時的観点から紹介する。ロシア語やほかの現代スラヴ諸語の祖先にあたるスラヴ祖語がいつごろ成立し、その後各語群にどのように分化し、各現代スラヴ語が発達したかについて解説し、さらにそれらの言語と社会がどのようにかわっているかについても紹介する。ロシア語について知るだけでなく、ロシア語がほかのスラヴ語とどのような関係を持つかについての基本的な知識を身につけることを目標とする。
27	月	3	国際ビジネス・コミュニケーション	中嶋 圭介	第3AV	職業的、実務的英語運用能力の向上に主眼を置く。国内の日系・外資企業の職場を想定した英語力だけでなく、海外企業や国際機関での就職や業務遂行も視野に入れ、適切な英語表現の知識習得に留まらず、マナー、スタイル、スキルを含めたコミュニケーション術を学ぶ。英文で履歴書、略歴、カバーレターを作成し、Informational Interview（欧米の就職活動で一般的なキャリア形成上のアドバイスを仰いだり業界情報を収集する面接）に出掛け、教室で得られる知識を踏まえて実体験からも学ぶ。
28	月	4	映画研究	A.Lafontaine	106	This course is an introduction to the study and analysis of film, focusing on mainstream Hollywood cinema. Over the course of the semester you will be exposed to key critical and theoretical approaches in film studies, in addition to gaining further knowledge into cinema history and major film movements.
29	月	5	プログラミング実習Ⅱ	関 陽介	第3AV	この授業ではPython（科学技術計算・機械学習ライブラリ含む）を対象として、座学・演習形式で実用的なプログラミング技術の習得を目指します。
30	月	5	神戸研究	中嶋 圭介	106	この授業では、国際都市神戸と世界の「つながり」に焦点を当てる。歴史、文化、宗教、教育、建築、ファッション、防災、観光、政治、ビジネスなど神戸の特徴を切り口に選び、文献調査、データ収集、インタビュー等を行い、まちが直面する問題性を特定、既存の解決に向けた取り組みを分析評価、そして、自身の改善策を検討する。その結果を、クラスで英語によってプレゼンテーションする。英語プレゼンの内容は、学んだことをまとめるだけに留まらず、批判的考察によって課題を明らかにし、未来志向、問題解決型の提案を含むようにする。このような知的訓練を通して、神戸から世界を、世界から神戸を捉える双方向の視点や思考能力、実践的な問題解決能力を養い、グローバル人材の育成を目指す。

31	月	5	マーケティング論2	今井 紀夫	506	近年のデジタル技術の進化と普及はビジネスに大きな影響を及ぼしており、世界時価総額上位10社の半数はデジタル・プラットフォームを軸としたビジネスを展開している。マーケティングにおいても、単に自社の製品やサービスの訴求を行う場所としてSNSやアプリなどが利用されるようになっただけでなく、その方法が抜本的に変化している。この本科目では、「マーケティング論1」の内容を軸として、「デジタル化によるマーケティングの変化」について学んでいく。
32	月	6	プログラミング実習Ⅱ	関 陽介	第3AV	この授業ではPython（科学技術計算・機械学習ライブラリ含む）を対象として、座学・演習形式で実用的なプログラミング技術の習得を目指します。より高度なデータ分析や人工知能等の手法を活用するためには、プログラミング技術が重要になります。この授業では座学と実習を通して、Python（科学技術計算・機械学習ライブラリ含む）の知識や技術を身につけることを目的とします。
33	月	6	Japanese contemporary literature and culture (AW)	宮下 みなみ	106	This course explores Japanese art and popular culture from the postwar period to the present. Through the analysis of literary texts, manga, and contemporary social discourse, students will develop a broader understanding of Japanese society, with particular attention to issues of identity, memory, gender, technology, and globalization.
34	月	6	専攻英語Ⅳ講読[3] G1	中嶋 圭介	第2AV	「失われた10年」がいつしか20年を越え、内向き・短期志向を強める日本をよそに世界はますます激変している。この講義では、2030-40年の将来を見通し、その時代までに世界を根本的に変えてしまうかもしれない「7つの地球規模課題」(Seven Revolutions)に関する英語文献を講読する。温故知新という言葉があるが、その逆のアプローチもある。つまり、国境や時間を超えて遠く将来へ視線を向けることで、逆算的に今日の世界情勢や今やるべきことが明確になる。この講義では、この後者の知的訓練を通して地球規模課題への理解を深めるとともに、批判的思考と建設的議論によって解決策を求める力を養うことによって、グローバル市民・人材の育成を目指す。